



2025年1月5日創立60周年記念特別演奏会

変わり続け、成長し続けるジュニオケを感じて

『子供達は才能の塊だから、僕が2、3個感じている間に彼らは20個、30個といろんなことを感じているんです』これは昨年のサマーコンサートのゲストでジュニオケOBのチェリスト 向井航さんの言葉です。団員達の姿を見続けていると、この言葉を本当に実感します。小3から高3という人生の中でも一番いろいろなことを吸収して、成長していく時期の子供達は、驚くほどのすごいスピードで変化し、成長していきます。個々の演奏はもちろんです、ジュニオケというオーケストラとしてもどんどん完成度をあげ、そして自分たちの演奏を作りあげていきます。

さらに今年の団員達は、1月に創立60周年記念演奏会という特別な体験もしました。70歳代の初期メンバーから数年前まで現役団員だった先輩まで多くのOBOGとともに、Kitaraの大ホールで演奏するというジュニオケでしか経験できない貴重なひととき、練習や本番を通じての先輩達との交流などで、多くのことを吸収し、学んだ団員達が大きく変わり、成長したのは言うまでもありません。

さあ、次は自分たちが主役となって、その成長した姿を見せる時です！
ジュニオケ最大のイベントである「サマーコンサート」、今年のメインはマーラーの交響曲第1番「巨人」です。ジュニオケでは、2005年創立40周年記念の「サマーコンサート」で広上淳一さんを客演指揮者としてお招きして演奏。さらに2014年の創立50周年記念のサマーコンサートでも演奏され、まさにジュニオケの節目を飾ってきた曲です。大人のオーケストラでも難しいといわれるこの大曲に、団員達は正面からとりかかり、自分たちの曲とするために格闘し続けてきました。それはまさに、目の前にそびえ立つ巨人に、「楽器」という武器を手に力を合わせて立ち向かっていく勇者達のようにも思えてきます。どんな演奏で巨人を克服するのか？

ゲストはジュニオケOBで、国内外で活躍しているヴァイオリニストの成田 達輝さん。成田さんと団員達が演奏するのはメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲です。ベートーヴェン・ブラームスの作品と並び「三大ヴァイオリン協奏曲」と称され、「メンコン」の愛称で知られるまさに名曲。この曲の練習では、ヴァイオリン担当の団員達がソロパートを分担して演奏してきました。自分たちの演奏と成田さんの演奏とで感じることもまた団員達を大きく成長させることでしょ。

60年という大きな節目を経て、あらたな10年に向けてスタートを切ったHBCジュニアオーケストラ。団員達は、その新たな歴史を創り出すべく第1歩を踏み出します。ジュニオケの歴史と伝統を担うという自負と責任を感じつつ、Kitara大ホールを舞台に、今の自分たちの一番成長した姿を思いっきり表現します。ぜひ団員達のこれまでの歩みと想いをのせた響きをKitaraでお確かめください！

HBCジュニアオーケストラ事務局長 山田 考志



常任指揮者 阿部 博光

函館生まれ。1976年東京藝術大学入学。第45回日本音楽コンクールフルート部門入選。在学中に日本フィルハーモニー交響楽団へ入団。1980年東京藝術大学卒業。1982年文化庁芸術家在外研修員としてスイスのバーゼル市に留学。P・L・グラフ、R・メラーンの両氏に師事。元日本フィル首席フルート奏者。1995年北海道教育大学岩見沢校に赴任。これまでに、札幌市民芸術祭大賞、札幌文化奨励賞、北海道文化団体協議会賞、札幌芸術賞を受賞。故小松昭五、細川順三、三村園子、故小泉剛、故吉田雅夫の各氏に師事。現在、北海道教育大学名誉教授、同大学岩見沢校、札幌大谷大学各非常勤講師。HBCジュニアオーケストラ常任指揮者。札幌フルート協会会長。現在、後進の指導にあたりながらリサイタル、室内楽を中心に幅広い活動を行っている。2024年10月31日には、Kitara大ホールで「阿部博光フルート協奏曲の夕べ」古希を迎えてー（指揮：広上淳一 管弦楽：札幌交響楽団）を開催。

2010年ロン＝ティボー国際コンクール第2位、2012年エリザベト王妃国際音楽コンクール第2位。国内外の指揮者・オーケストラと共演し高い評価を得るとともに、リサイタルや室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露。現代作曲家とのコラボも得意とし、2022年9月には坂本龍一のプライベート録音に参加し「ソナタ」等を演奏。使用楽器は、1711年製ストラディヴァリウス「Tartini」（宗次コレクションより貸与）
HBCジュニアオーケストラには2000年から2005年まで在団。



ヴァイオリン 成田 達輝

1964(昭和39)年11月21日
初めての入団オーディション実施。
約50人が応募。
この日を設立日とする。
創設指揮者は齊藤信和氏
(藤女子中学校・高等学校教師)



初代常任指揮者の齊藤信和氏

1964(昭和39)年12月24日
札幌市民会館大ホールでの
「HBCクリスマス・ファミリー大会」で最初の
コンサート。
HBCクリスマス・ファミリー大会



1965(昭和40)年7月31日～8月4日
北見・釧路・帯広へ初の演奏旅行。
この年、札幌市民劇場奨励賞を受賞。
帯広市民会館での演奏会(1965.8.3)



1977(昭和52)年10月29日
初の区民センターでのコンサート
第1回楽しいオーケストラ・コンサート
(札幌市西区区民センター)



1978(昭和53)年8月13日
FTV(福島テレビ)
ジュニアオーケストラと合同演奏会
(北海道厚生年金会館大ホール)
翌1979年には福島県文化センターで
合同演奏会をおこなう。



1982(昭和57)年8月10日
「第1回HBCジュニアオーケストラ・サマーコンサート」
(札幌市民会館大ホール)
この年からサマーコンサートがスタート。



1987(昭和62)年3月29日～4月5日
HBC創立35周年記念アメリカ・ポートランド親善演奏旅行
初めての海外演奏会。札幌の姉妹都市アメリカ・ポートランド市の
ウィルソン高校で演奏会をおこなう。この年、北海道文化奨励賞を受賞。



アメリカ・ポートランド市 ウィルソン高校ホールでの演奏会

1991(平成3)年7月31日～8月6日
ロシア・ノボシビルスク市親善演奏旅行
ノボシビルスク市での演奏会



ノボシビルスク市での演奏会

1997(平成9)年8月2日
「97HBCジュニアオーケストラ・サマーコンサート」
(札幌コンサートホールKitara大ホール)
この年に阿部博光氏が常任指揮者に就任。
この年からKitara大ホールで
サマーコンサートを開催。
常任指揮者に就任した阿部博光氏



常任指揮者に就任した阿部博光氏

2002(平成14)年1月14日
HBC創立50周年記念「ベートーヴェン交響曲第9番演奏会」
(札幌コンサートホールKitara大ホール)



指揮の小林研一郎氏

2005(平成17)年7月24日
創立40周年記念「HBCジュニアオーケストラ2005サマーコンサート」
客演指揮者広上淳一氏を迎え、マーラーの交響曲第1番「巨人」を演奏。
このコンサートで「平成17年度
札幌市民芸術奨励賞」を受賞。



2015(平成27)年1月11日
HBCジュニアオーケストラ創立50周年記念特別演奏会
(札幌コンサートホールKitara)
現役団員とOB・OG合わせて約150人でショスタコーヴィチの交響曲
第5番他を演奏。ヴァイオリン独奏はOBの成田達輝氏。
この年、北海道文化賞を受賞。



2018(平成30)年
3月24日～30日
6回目の海外演奏旅行として、
ウィーン演奏旅行。
ウィーン学友協会・黄金のホール
での演奏会などをおこなう。



2020(令和2)年8月30日
「HBCジュニアオーケストラ2020サマーコンサート」
新型コロナウイルスの影響で練習ができず、オンライン練習等を実施。
舞台上の密を避けるため管楽器をステージ後方の2階席に配置し開催。



第1回目のオンライン練習 (旧社屋ラジオ第1スタジオ)

2021(令和3)年8月9日
HBC創立70周年記念「HBCジュニアオーケストラ2021サマーコンサート」
ジュニオケOBの富岡廉太郎氏をゲストに迎え、ドヴォルザークのチェロ
協奏曲で共演。また、サマコンでは10年ぶりにHBC少年少女合唱団と
共演。



サマコンでは10年ぶりの少年少女合唱団との共演

2022(令和4)年7月30日
11年ぶりにPMFピクニック
コンサート出演
(指揮：ダニエル・マツコワ氏)



2023(令和5)年8月12日
40回目となる2023サマーコンサートを4年ぶりに
ほぼ制限なしで開催。
ゲストはOBでヴァイオリニストの
扇谷泰朋氏。



2024(令和6)年3月25日
福岡ジュニアオーケストラとの初の合同演奏会
(福岡シンフォニーホール)。アンコールでは、両オーケの指揮者が一緒に
指揮をして「威風堂々」を演奏。



2024(令和6)年8月12日
創立60周年記念「2024サマーコンサート」ゲストはOBでチェリストの
向井航氏。メインはサンサーンスの交響曲第3番「オルガン付き」。
オルガン奏者の吉村恰子さんによるパイプオルガンの演奏と共演。

2025(令和7)年1月5日
「創立60周年記念特別演奏会」(札幌コンサートホールKitara)
OB・OGと現役団員あわせて165名の大オーケストラでリムスキー＝
コルサコフ「シェエラザード」などを演奏。コンサートマスターはOBの
西本幸弘氏。アンコールでは初代常任指揮者齊藤信和先生が最後に
指揮をした「カヴァレリア・ルスティカーナ」を演奏。

2025(令和7)年3月29日
新十津川町で「スプリングコンサートinゆめりあホール」を開催。
エキストラ無しの団員68名によるコンサート。
メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲のソロ演奏を団員が
リレー形式で披露。

HBC JUNIOR ORCHESTRA

HBCジュニアオーケストラ 2025年度 秋の入団オーディション

日 時：2025年8月31日(日) ※時間は応募者に直接連絡「8月25日(月)応募締切り」
場 所：HBC北海道放送内
曲 目：任意の自由曲 ※伴奏なしで演奏
応募対象：小学3年～高校2年で応募資格を満たしている児童・生徒

その他、応募資格など詳しくはホームページをご確認ください。
https://www.hbc.co.jp/hbc/jr_orch/bosyu/index.html
HBCジュニアオーケストラ事務局
011-232-5842 (10:00～17:00/土・日・祝 休み)
メール:hbcjo@hbc.co.jp

